

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-5-1 産業人材の育成
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能 昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	離転職者等の職業能力開発事業		
目的	(1) 対象	公共職業安定所に求職申込みを行っている者で、職業能力の開発を必要とする離転職者	
	(2) 意図	就業に必要な技能・知識を習得し、再就職してもらう。	
事業概要	離転職者の再就職を促進するため、介護やパソコンスキルなどの職業訓練を実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			訓練修了後の就職率(3月末時点=委託訓練の公共職業訓練月次報告4月報告分)	目標値			73	73	73	73
		(就職者数+中途就職者数) / (修了者数+中途就職者数)	実績値	75.1	69.4	78.4	76.7		%	
			達成率		95.1	106.8	105.1		%	
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値		0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00	0.00				
			達成率		0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	332,801	462,429
うち一般財源(千円)	26,642	28,523

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

雇用情勢は、穏やかに回復しているが、業種によっては過不足が生じているため、引き続き再就職に向けた効果的な職業訓練を行っていく必要がある。

平成26年度離転職者対象職業訓練(委託訓練)実績 62コース、828人
(平成27年度 計画59コース、737人)

月間有効求人倍率1.09倍(H27.3)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

雇用情勢が改善してきた中で、ハローワークと連携し、求人が多い職種や求職者のニーズが高い職種の訓練を実施したことにより、目標値を上回ることができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 訓練生の確保に苦慮している。

②困っている状況が発生している「原因」

- 景気回復に伴う求人の増加
- 労働局が実施する同様な訓練との競合

③原因を解消するための「課題」

- 人材が不足している分野での訓練を実施する必要がある。
- 出産・育児等を理由とする離職後の再就職に向けた訓練設定を検討する必要がある。
- 引き続き同様の訓練を実施する関係機関との連携を強化していく必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 人材が不足している分野での訓練を実施するとともに、出産・育児等を理由とする離職者の再就職に向けた訓練コースの設定により、受講生の確保に努めていく。
- 島根労働局が実施する求職者支援訓練と同様な訓練を実施することとなるため、同局が主催する地域訓練協議会の場等を通じて、引き続き十分に調整を行い、両訓練が円滑に実施できるようにしていく必要がある。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)